

## 里山ジビエ処理施設（岐阜県）

2017年2月

長野県（シカ）の23箇所、岐阜県（イノシシ）の23箇所、三重県（シカ、イノシシ）の16箇所、和歌山県（シカ、イノシシ）の17箇所、大分県（イノシシ）の25箇所など、シカ肉やイノシシ肉の文化が残る地域には食肉処理施設の数が多い。岐阜県の23箇所の大半は狩猟者が個人的に立ち上げた食肉処理施設であるが、昨年の暮れに本巣市内に交付金を活用した食肉処理施設が運用を開始したり、岐阜県の認証制度がスタートして食肉処理施設と飲食店が一緒になった利用促進の取り組みが動き出すなど、県内のシカ肉やイノシシ肉の動きは活発化しつつある。

専業食肉処理施設として稼働し始めた「里山ジビエ処理施設」の取り組みを紹介する。

### 里山ジビエ処理施設

里山ジビエ処理施設は昨年3月に竣工し、①シカとイノシシの2レーンを装備、②床面積150㎡、③精肉の販売所を併設している。事業費は68,784千円（458千円/㎡）と、28食肉処理施設平均の342千円/㎡（ちよろくり調べ）より割高となっている。専用のプレハブ冷凍庫（シカとイノシシ用）を設置していることや、昨今の資材費高騰などが建設費用が高くなった原因なのかもしれない。



### 捕獲個体の集積場の役割

個体数調整のために捕獲したシカは、狩猟者は里山ジビエ処理施設に搬入しないと報奨金が支払われない仕組みになっているという。北海道の「食美楽」や福岡県の「宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設」では、捕獲されたシカやイノシシは全て施設に搬入され、食肉処理施設側が食用にできるのか廃棄処分とするか見極めた上で処理している。

捕獲個体の有効活用手段として、一度食肉処理施設に集約し、食用やペットフードへの利活用促進と廃棄個体（現状、多くの捕獲個体は現場で埋設処分や廃棄され、小動物の餌になったり廃棄個体による環境汚染などの問題が表面化しつつある）の効果的な処理を図るためにも、こうした取り組みの促進が求められる。

### 想定される課題

稼働したばかりではあるが、2レーンの施設の維持、管理及び減価償却を考慮するなら、年間千頭前後の処理が求められると推測される。県内ではシカの頭数が増えつつあるので、地域の食文化にはなかったシカ肉の普及と大消費地に向けた流通の整備という二つの課題解決が求められてくると思われる。

## 里山ジビエ処理施設（岐阜県）

2020年3月

岐阜県本巣市にある里山ジビエ処理施設は、2016年4月に竣工し、約150㎡の広さでシカとイノシシの2レーンが整備され、一般社団法人里山ジビエ会が運営している。

### 豚熱が奏功

岐阜県をはじめ、豚熱の感染が見つかった県ではイノシシの搬入や解体処理が自粛されている。こうした中、里山ジビエ処理施設では、2レーンを整備したことが功を奏し2レーンを使って大量に搬入されるシカの解体処理を可能にしている。

### 全頭受け入れ—利用率約99%&安定的な需給を実現

全国各地の獣肉加工施設で、ポツポツと有害捕獲の管理を担う拠点として捕獲されたシカやイノシシ全頭を受け入れる体制が整いつつある。里山ジビエ処理施設は本巣市との契約により、市内で捕獲されたすべてのシカが施設に運び込まれている（イノシシは豚熱の感染が始まった2018年秋以降、取り扱いを停止）。

設立当時の新聞記事によれば、当時の捕獲頭数は200頭ほどであったようだが、昨年度は約1,300頭（シカのみ）で、東海地域では一番多くの頭数を取り扱っていると思われる。本巣市では、毎年度有害捕獲を行う頭数が決められており、年度による搬入頭数の変動は少ないという。

里山ジビエ処理施設の特徴は、年度ごとの搬入頭数に大きな変動がないことと、搬入されたシカの約99パーセントが廃棄処分されることなくペットフードや精肉として販売されていることだ。

搬入量（入荷量）が安定していることは、獣肉加工施設の最大の宿命である不安定な需給バランスを回避できるので、新たな経営戦略が立てやすくなる。



### 精肉からペットフード活用に転換



設立当初、本巣市では捕獲されたシカ・イノシシを自宅の敷地に埋めるしかない狩猟者が多く、捕獲数を増やしたくても増やせない要因の一つになっていたようだ。里山ジビエ処理施設が出来たことにより、飲食店や道の駅で精肉の取り扱いが始まった。しかし、年々搬入頭数が増え、大量に搬入されるシカを処理する手立てとしてペットフードの活用が始まった。今では、精肉を遙かに上回る量がペットフード（犬用と動物園用）として活用され、「安定的な

頭数の搬入+価格が安い+安定的に供給できるペットフード=施設経営の安定化が実現」しているモデルケースと言える。

“里山ジビエ処理施設の設備を視察しに来る方はいるけれど、取り組み内容を視察に来る方はいない”と担当者の方は言っていた。